

IL-6

コロナ感染の重症度判定にも



株式会社 臨床宮崎

TEL.0985-52-6688

IL-6 検査の紹介

注目
検査

IL-6
とは

- リンパ球やマクロファージなどの細胞から分泌され炎症の調整因子として働く炎症誘発性サイトカインの一つ
- 免疫細胞を刺激・増殖などを行い異物の排除する役割を担う
- 長期にわたって過剰に産生し続けると様々な病態を引き起こす

コロナ感染とIL-6

重症度の判定に重要

- コロナウイルスに感染すると免疫が過剰に反応しIL-6が多量に産生されるため重症度の判定に有用
- 感染患者における人工呼吸器に伴う挿管の必要性のカットオフ値は80 pg/mLという参考データがあり治療法の選択時にも有用
- IL-6産生を阻害する薬が治療薬として使用されている

炎症マーカーとIL-6

炎症の程度を評価し治療方針を決めるのに有用

- 細菌性敗血症診断時に検査するプロカルシトニン(PCT)、炎症マーカーのCRPと比較して早期に上昇、治療後は速やかに低下する
- 救急搬送または集中治療時において、炎症および臓器障害の重症度判定の目安となる

リウマチとIL-6

炎症の悪化をひきおこす

- 関節リウマチの治療で使用されるようになった生物学的製剤は、IL-6の働きを抑え、炎症を鎮静化させる

IL-6の保険適応

●全身性炎症反応症候群の患者（疑われる患者を含む）の重症度判定の補助を目的として、一連の治療につき2回に限り算定する。医学的な必要性から一連の治療につき3回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

検査内容

項目コード	項目名	検体・提出量	検査法	報告日数	基準値	実施料判断料
2720	インターロイキン-6/ECLIA	血清0.6	ECLIA	4~6	7.0以下pg/mL 重症度判定カットオフ 100 pg/mL	170 (免疫)